

# 新建築あいち 2024.5月号

新建築愛知支部事務局：株式会社 宮工務店 気付

〒486-0904 春日井市宮町 1-11-25

URL <http://nu-ae.com> ホームページ(2022年4月～)

TEL 0568-34-7775 FAX 0568-34-7797

## ■ 第50回東海自治体学校

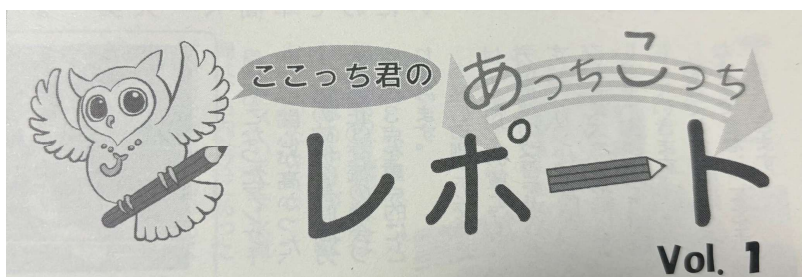
### (兼 第17回地方自治体研究全国集会 in 愛知プレ集会) の案内

5月19日(日)9時半から16時半まで、ウイंकあいち(愛知県産業労働センター)にて、愛知プレ集会在開催されます。10月5日(土)6日(日)に「第17回地方自治研全国集会 in 愛知」が、名古屋国際会議場で行われます。

昨年より、新建築愛知でも現地実行委員会の会議に参加をしてきました。プレ集会是、会場と一部 ZOOM での参加が可能です。事前申込書は、添付資料を確認して下さい。

#### 第50回 東海自治体学校(プレ集会)スケジュール

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会挨拶 榊原 秀訓<南山大学教授>  
(第17回 地方自治研究全国集会 in 愛知 現地実行委員長)
- 10:15 記念講演「岐路に立つ地方自治の希望の芽」  
講師:市橋 克哉さん<名古屋経済大学特任教授>  
(東海自治体研究所 理事長)
- 11:15 休憩
- 11:25 質疑
- 11:45 終了
- 12:00 昼食
- 13:00 講座・分科会受付開始
- 13:15 講座・分科会開会
- 16:15 分科会終了
- 16:30 全体終了



今回のキャラクター「ここっち君」



犬山まつりと桜

## ■ 「居住福祉と民主主義」～居住福祉と生活資本の構築(163)

岡本 祥浩

### 財政と民主主義

神野直彦さんが、『財政と民主主義』(岩波新書、2024年2月)を上梓された。本書は、財政は民主主義が土台になっていること、稼働年齢階層は稼いで納税するが、子どもや定年後の高齢者は稼げないので財政からの支援がなければ生活できないこと、だから財政を民主主義で動かさなければならぬことが主張されている。著者の体調不良を押して書かれた本書は迫力に溢れているが、この議論は居住に関してもそのまま当てはまるように思う。

### 守るべき「居住弱者」

これまで子ども、高齢者、障がい者など稼げない人々は稼げる世帯主の庇護の下に守られるべき対象と考えられてきた。だから、世帯主や会社やさまざまな組織は、構成員の生活を守る責任を負わされてきたと言える。世帯主は家族などの構成員を養わなければならなかったし、会社は社員の生活を保障しなければならなかった。そのことが、国や政府の庇護された人々への関心を薄め、それらの人々の人権保障を困難にしたと考えられる。その結果、劣悪な子どもの居住環境は保護者の責任、定年退職後の高齢者の居住は「年金と貯蓄」で賄うべき個人責任との認識が広がってしまった。

### 誰もが主人公

しかしながら、従来の認識からは支援を受けなければならない人々が増えてきた。経済のグローバル化、産業構造の転換、人口構造の変化などを背景に世帯の縮小や一人暮らしの増加が顕在化してきた。また、高齢化の進展と医療技術の進歩を背景に障がい者数が増え、一般に障がい者を特別視できなくなった。その上、労働力不足を背景に外国籍の労働者が増加している。こうした人々は、体調不良など少しの変化にも柔軟に対応することが困難で、生活困窮に陥り、居住を喪失しやすい。

そこで、これまでの大家族や会社やその他の組織が果たしていた人々の居住を支える機能の代替が必要になる。一人ひとりの機能が発揮できる環境が整備されれば一人でも居住できるが、さもなければ、適切な居住の実現を妨げている障害を取り除けないかもしれないし、誰かと協働して居住環境づくりができないかもしれない。そこで多様な人々が利用する環境ぐらいいは誰もが利用できるようにしておこうと「障がい者差別解消法」などが制定され、居住環境の改善を行政と民間機関に要請している。しかしながら一人ひとりに相応しい環境の認識は当事者においては困難で、当事者を主人公に据える「居住民主主義」が機能しなければ一人ひとりに相応しい居住環境の創造は困難である。

### 社会が創る居住

とは言え子どもや退職した高齢者をはじめ稼いでいない人々が居住環境を改善することは困難で、周りの人々と協力したり政府自治体に実施してもらったりする必要がある。そのために条例、法律、事業制度を定めなければならない。そうした法制度を制定する市民活動が高まり、社会が変われば法制度も変わり、一人ひとりを主人公とした居住環境の創出につながることを期待できる。

このようにして、居住環境の創造も居住福祉社会の構築も一人ひとりが主人公である「居住民主主義」の機能が必要になる。

(中京大学教授、日本居住福祉学会会長、新建会員)

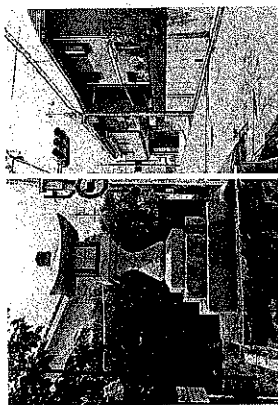
# 歴史探訪シリーズ 36 緑区

## 鳴海宿と常夜灯

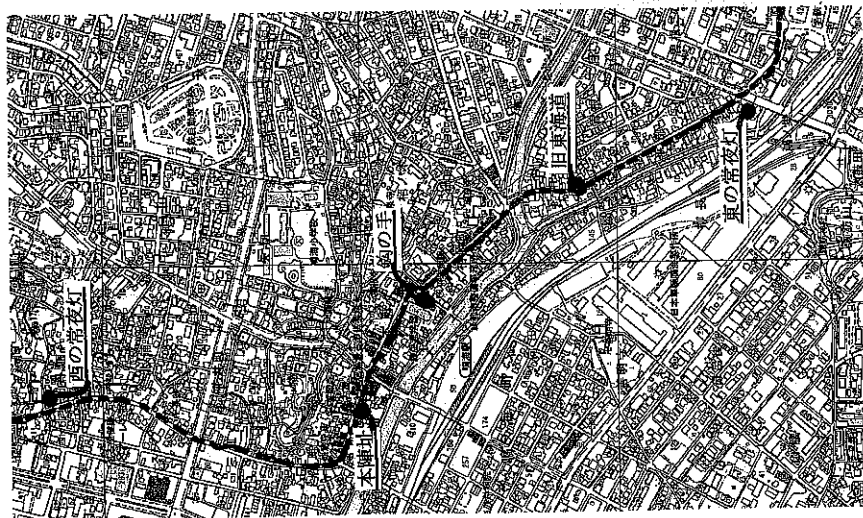
鳴海宿は、東海道が設けられると同時にさだめられ、品川から数えて40番目の宿場で、江戸日本橋から87里(約350km)の位置にあります。この東の宿は知立宿、西の宿は熱田宿でした。江戸時代後期には約1.6kmの街道沿いに本陣と脇本陣の他、70もの旅籠(はたこ)と800軒以上の家があったとされています。

この宿場には現在も東の入口と西の入口に常夜灯が残されています。東の入口のものは、文化3年(1806)と刻まれており、西のものは寛政4年(1792)と刻まれています。このように宿場の両端に常夜灯が残されている所は他には見る事ができず、極めて貴重な存在となっています。この東の常夜灯から西の常夜灯までが、鳴海の宿場町となるわけですが、近年の開発の波を受けて、かつての宿場町の状況を知ることは困

難になっています。本陣も根古屋にあつたと云われていますが、今ではまったく当時の面影を見ることができません。当時の宿場町の様子を知ることができるのは、本町に残された釣手の道筋、作町から三皿にかけて見られる比較的規模の大きな明治期の家屋、通りにあるいくつかの寺院に当時の雰囲気知られるのみです。また、鳴海は俳人松尾芭蕉とも縁の深い所であり、根古屋にある誓願寺境内には、芭蕉最古の供養塔が残されています。



鳴海宿 東常夜灯



# ■ 新建愛知支部 2024年3月 支部幹事会日より

3月18日(水) 19:00~21:00 (オンライン)

リモート参加者/入谷、奥野、黒野、中森、福田、壬生、甫立

- (1) 3/6~7に北陸地震後の北陸ブロック会議が金沢で開催されました。
- (2) 3/16に第17回地方自治研究全国集会 in 愛知の会議がありました。10/5・6日に開催予定です。
- (3) 5/19(日)に「第50回東海自治体学校」(地方自治研全国集会プレ集会)が開催予定です。
- (4) 7月に開催予定の「愛知サマーセミナー」の企画を募集します。やりたい企画をお知らせ下さい。
- (5) 支部の皆さまから、企画を募集しまして、楽しめる学べる企画や見学会の開催や提案します。
- (6) 職人不足で困らない為に、共同事業化の組織化検討を進める事を決めて、源樹会と連携をします。
- (7) 新建に協力してくれる施工者、職人、各種の営業さん等に声を掛けて、リスト化しています。
- (8) 「防災マニュアル」連絡網を利用して、支部企画、拡大と更に積極的に声掛けをしています。

今後の幹事会は、4月17日(水)、5月15日(水)、6月12日(水) 午後7時からと決めました。



## ■ KAMBE COFFEE STREET 開催！ 2024年3月9日(土)・10日(日)

地元・鈴鹿市神戸(かんべ)にて、3/9.10.11 寝釈迦まつりがあり、今年は3/9.10 COFFEE・STREETが開催されました。

喫茶ケセラセラの店主・森由起さんを中心とした、実行委員会(かんべラバース)の企画です。昨年の4月に、オープンした築古 stock(空き家相談・古着店・シェアキッチン)へ行き、喫茶ケセラセラへうかがって、その後10月に神戸まちあるきにお誘いいただき、COFFEE・STREET 企画を教えてもらいました。そこから4ヶ月で広がり、鈴鹿市以外にも、津・松阪・伊勢・名古屋・兵庫の神戸のお店まで出店、神戸高校放送部、三重TV、FM三重なども取材にきていました。

龍光寺(禅宗・臨済宗)中心の寝釈迦祭りですが、通常の150店の出店とともに、COFFEE・STREETとして6店程のコーヒー、スコーン、ベーグルなどのお店が並び、たくさんの行列ができていました。売り切れ続出！鈴鹿市駅・市役所の徒歩圏内の喫茶、洋服店、鉄工所を改装したボルダリングジム、旅館等が各店舗で他地域のお店とコラボして、コーヒー、カレー、日本酒、ワイン、ワークショップ、抹茶と和菓子などもあり町を散策しながら楽しめる企画になっていました。夜は1つの喫茶店で「コーヒーとランタン」が開催。両日でちがうお店を誘致していたり、2日続けてきてくれているお店があったり、メインの COFFEE・STREET があり、町中のお店がお祭り。2日連続行って、昨日のカフェラテとベーグルが美味しかったから、また買いに来ました、と会話できたり、その横には1日目とは違うお店が並んでいたり、いろいろな楽しみ方ができる企画だなーと思いました。

完売、時間切れ、行けない、食べられないものもたくさんあり、実店舗を構えているお店には、また行きたいと思わせてくれました。とくに印象に残ったのは、現役陸上選手のバリスタさん、男気コーヒーの洋服屋さん、ボルダリングジムのアート感、ベーグル、ラテの美味しさ…。コーヒー2日で5杯、知人も案内して、きちんと寝釈迦さまもお参り、拝観しました。

KAMBE・COFFEE・STREET の散策 MAP の裏面は神戸地区の協賛店舗の紹介となっていて、お祭りまつりが終わったあとも、この MAP でまち散策をしていただけるようにとのことです。MAP のほかロゴ、フラッグ、ステッカーも作成されていました。

1日目は少し雪も散らつき、風もつよかったのですが、かんべラバースの若者中心にずっと見守ってくれていたみたいです。今度は6月にバリスタ教室を企画中とのことです。珈琲の道、満ち満ちて、とても素敵な企画でした。(黒野晶大)

